



消費支出

奈良市の消費支出は、12年連続で全国を上回る

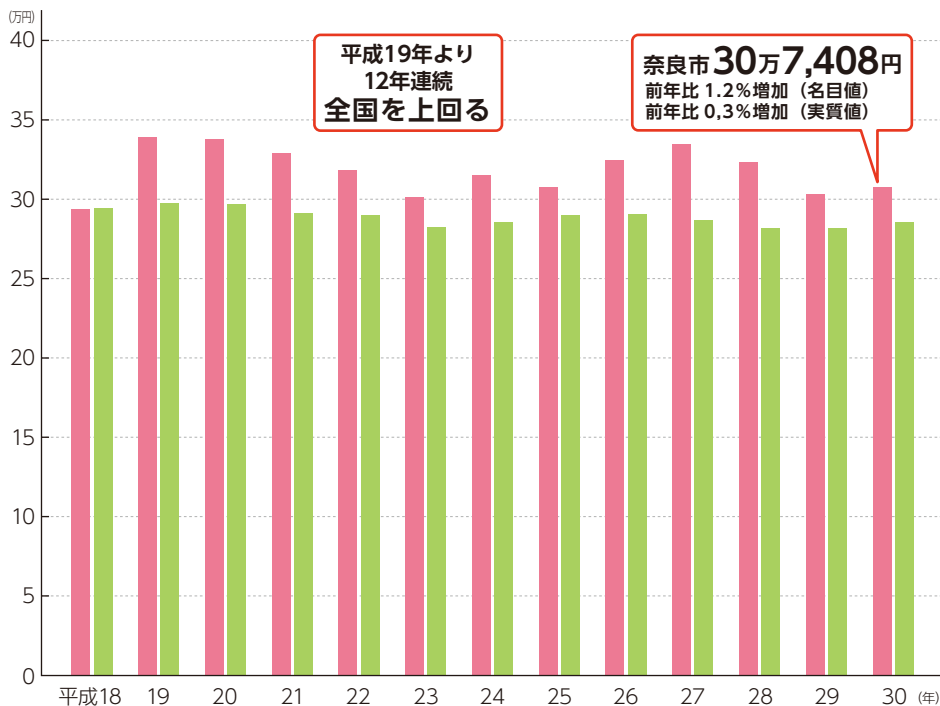
平成30年の奈良市における二人以上の世帯1世帯当たりの1カ月の平均消費支出は30万7,408円となりました。

全国平均は28万7,315円、奈良市は12年連続で全国を上回りました。また、奈良市の二人以上の世帯の消費支出は前年に比べ名目値で1.2%の増加、実質値で0.3%の増加となりました。

- 消費支出…いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
- 名目値…実際に市場で取引されている価格にもとづいて推計した値。
- 実質値…物価の変動の影響を取り除いた値。

消費支出(奈良市・全国 二人以上の世帯)の推移

資料:総務省統計局「家計調査」

■ 奈良県 ■ 全国




10大費目別にみた支出の特徴

奈良市の消費支出は全国平均に比べ、 教養娯楽にかかる消費支出が高い

平成30年の奈良市における二人以上の世帯1世帯当たりの1カ月の平均消費支出は、全国平均に比べ、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、教育、教養娯楽への支出割合が高くなっています。

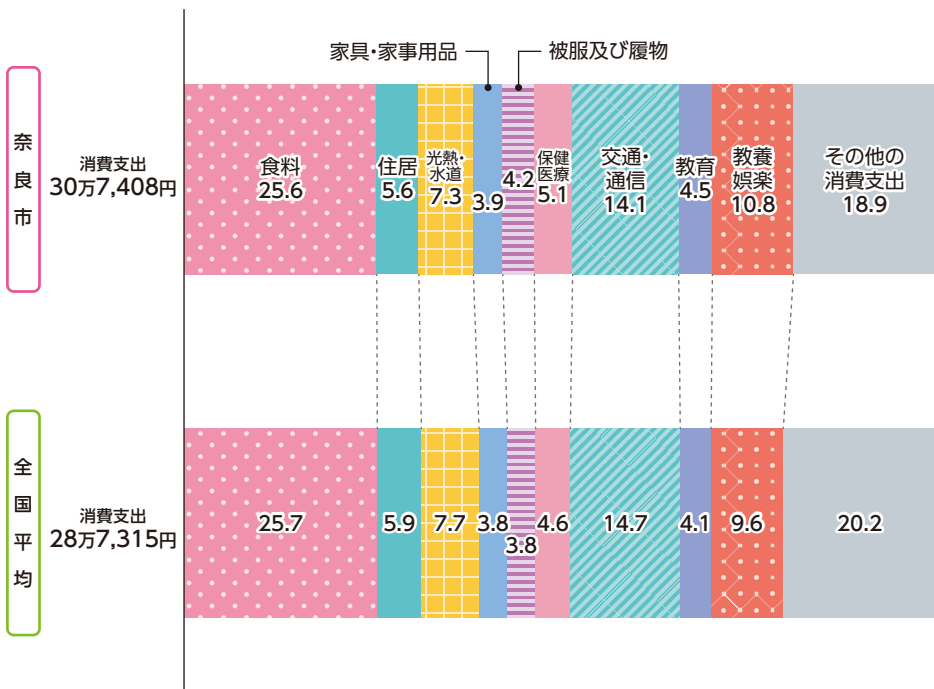
前年に比べ、10大費目のうち、消費者物価の変動を反映し実質増加した費目は、食料、住居、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教養娯楽で、実質減少した費目は光熱・水道、教育でした。

消費支出の10大費目別内訳(奈良市 二人以上の世帯)(平成30年)

資料:総務省統計局「家計調査」



※単位(%)





収入と支出のバランス

黒字率は31.0%

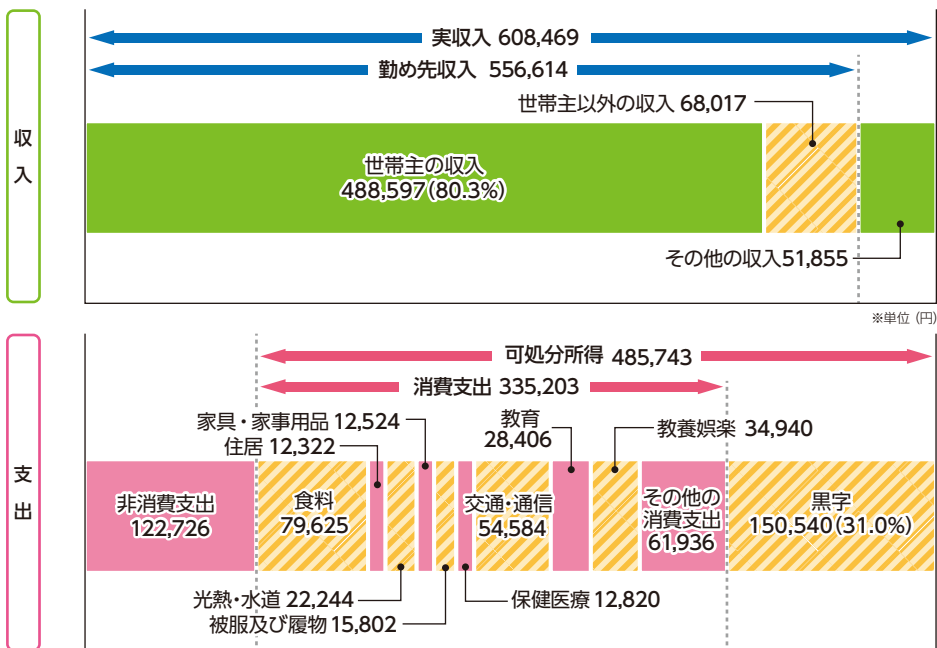
平成30年の奈良市における二人以上の勤労者世帯1世帯当たりの1カ月の平均実収入の構成比をみると、世帯主収入が48万8,597円で、実収入全体の80.3%となりました。可処分所得から消費支出を引いた黒字は、15万540円で黒字率は31.0%となっています。

前年と比べると、世帯主収入は47万5,786円から1万2,811円増で48万8,597円、黒字は12万9,159円から2万1,381円増で15万540円となり、黒字率(可処分所得に対する黒字)は前年28.8%から2.2ポイント増加し、31.0%になりました。

- 非消費支出…税金や社会保険料など原則として世帯の自由にならない支出。
- 可処分所得…「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。
- 黒字…「実収入」と「実支出(消費支出+非消費支出)」との差であり、マイナスの場合は赤字ということ。「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額と同じ。

収入と支出のバランス(奈良市 二人以上の勤労者世帯)

資料:総務省統計局「家計調査」



※集計中に四捨五入しているため、内訳の集計と合計が一致しません。

※単位(円)



全国消費実態調査からみた消費の特徴

県外での消費支出(購入)の割合は全国1位 教育への消費支出は全国を大きく上回る

他の都道府県での消費支出(購入)の割合は15.2%で、平成21年に引き続き全国1位となっています。また、教育への消費支出は1万8,192円で、全国(1万3,387円)を大きく上回っています。

平成26年全国消費実態調査によると、二人以上の世帯1世帯当たりの消費支出を購入地域別でみると、他の都道府県で購入する割合は15.2%で、前回平成21年調査(15.9%)に引き続き、全国1位となっています。

また、二人以上の世帯1世帯当たりの費目別消費支出について、全国を100として比べると、食料、その他の消費支出、教養娯楽の3費目を除く7費目で全国を上回っています。特に教育は、全国より大きく上回っています。

全国を100とした奈良県の費目別消費支出 (二人以上の世帯)

資料:総務省統計局「平成26年全国消費実態調査」

●「他の都道府県」での購入割合 (二人以上の世帯)

	順位	都道府県	消費支出 「他の都道府県」での 購入割合(%)
上位 5 県	1	奈良県	15.2
	2	岐阜県	13.7
	3	埼玉県	13.6
	4	佐賀県	12.8
	5	神奈川県	12.5

●全国を100とした奈良県の費目別消費支出 (二人以上の世帯)

